

①②は疑問詞 who, what が主語となり、「誰が?」「何が?」を問うている。

【!】 疑問文に合わせた答え方に注意すること。

“Who painted this?” “Aaron did.”

「これを描いたのは誰?」「アーロンだよ」〔× It was Aaron. としない〕

類例 Who will be pitching in the next game?

次の試合で登板することになっているのは誰ですか。

What's the matter with you? You look pale.

どうかしたのですか。顔が真っ青ですよ。

【!】 疑問代名詞が主語になる場合は単数扱いが原則

Who lives in that mansion? あの邸宅には誰が住んでいますか。

※ただし、述語動詞が be 動詞の場合は、後に続く名詞（句）の人称や単複が動詞に反映される。

Who are the members of this committee?

この委員会の構成員は誰ですか。

③④では疑問詞 which が主語になり、人・事物について「どちらが…か?」を問うている。which は、あらかじめ一定の選択肢が提示されている場面で用いる。③の場合、選択肢 the blue one と the brown one を示しつつ、「どちらが?」と聞いているが、④のように選択肢が話し手と聞き手の間で了解されているときは、それを明示しないこともある。

【!】 which を単数とみなすか複数とみなすかは、答えが1人（1個）を選ぶことを期待しているのか、複数の人・事物を選ぶを期待しているのかによって変わる。

Which (of these ties) goes [go] best with this shirt?

このネクタイのうち、どれがこのシャツにぴったりかな?〔相手がネクタイ1本を選ぶと質問者が想定しているのであれば goes、複数を選ぶと想定しているのであれば go が選択される〕

発展 前置詞と whom / who

前置詞とともに who を文頭に移動する場合は、目的格 whom を使って〈前置詞+ whom〉の形にする。ただし、この表現は（かたく）響くので、who のみを文頭に持つてくるほうが一般的。

Who are you going to the party with?

≒（かたく）**With whom** are you going to the party?

きみは誰とパーティーに行くのかい。

※短い応答や問い合わせなどの時には（くだけて）では、〈前置詞+ who〉の形でよく用いられる。

“I went to the party with John last night.” “**With who?**”

「昨日、ジョンとパーティーに行ったの。」「え、誰とだって？」

一般に〈前置詞+ who(m)〉は既知の情報の確認の場面で用いられ、〈who + 前置詞〉は新しい情報を求める際に用いられる。

“I have to tell this to Mike.” “**To who(m)?**”

「このことをマイクに伝えないと」「え、誰にだって？」

“You have to tell the truth.” “**Who to?**”

「本当のことを言わないといけないよ」「誰にさ？」



9 “**Whose** bicycle is this?” “Probably, it's Sam's.”

554

「これは誰の自転車ですか」「たぶんサムのです」

10 “**What** kind of music do you listen to?” “I like jazz most.”

555

「あなたはどんな音楽を聴きますか」「一番好きなのはジャズです」

11 “**Which** book do you want to read this summer?” “I want to try something by Yukio Mishima.” 「この夏はどんな本を読みたいですか」「何

か三島由紀夫の作品に挑戦してみたいです」

556

疑問詞形容詞の **whose**, **what**, **which** は必ず名詞とセットで使い、「誰の…ですか?」「どんな…ですか?」「どちらの…ですか?」という意味になる。これらの疑問詞は、名詞を修飾する形容詞と同等の働きをしていることから、**疑問形容詞**と呼ばれる。

類例 **Whose** shoes are these? これは誰の靴ですか。

What subject do you like best? どの教科が一番好きですか。

What type of car do you drive? どんな車に乗っているのですか。

Whose [**Which**] book should I read?

誰の〔どの〕本を読んだらいいでしょうか。

Which part of Japan do you want to visit?

日本のどの地域に行ってみたいですか。

【!】 「どんな種類の…」を表す **What kind** [**sort**] of ...? では、後ろに来る名詞は無冠詞単数形が一般的だが、時に複数形の場合もある。

What kind of job do you want to do in the future?

将来どんな仕事がしたいですか。

What kind of books did you read during the summer vacation?

夏休みの間にどんな種類の本を読みましたか。

〔期間が長いので複数の種類の本を想定した質問〕

発信のヒント 「今日は何日ですか」「今日は何曜日ですか」

よく混同される表現だが、違いを押さえておこう。

・「今日は何日ですか」 **What's the date today?** / **What date is it today?**

→ **date** (日付) を尋ねている。(比較的まれ) に **What day of the month is it today?** が用いられることがある。

・「今日は何曜日ですか」 **What day (of the week) is it today?**

→ **of the week** (週のうちの) いつの曜日かを尋ねている

1 when, where, why

12 "When did you come home last night?" "At eight." 557
 「昨晩は何時に家に帰りましたか」「8時です」

13 "Where is the school library?" "It's on the fourth floor of this building." 558
 「学校の図書館はどこにありますか」「この建物の4階です」

14 "Why didn't you come to the party last weekend?" "Because I was sick in bed." 559
 「週末のパーティに何で来なかつたの」「病気で寝ていたんだ」(→ p.398 34)

時間を聞く場合には、12のように when を用いるが、「何時」なのか具体的に尋ねる際には What time ...? を用いることもできる。

12' ≒ "What time did you come home last night?" "At eight."

場所を尋ねる際には13のように where を用いる。理由を尋ねる際には14のように why を用いる。

ここが Point! 日本語の直訳で疑問文をつくりないことも大事

例えば「営業時間は何時から何時までですか?」と尋ねたい時に、From what time until what time is your store open? などとは言わない。端的に“What are your hours?”とすればよい。英語では漠然と When / How long ...? を使って訪ねるほうが自然。

② **how** +形容詞／副詞で用いる場合

(3) 程度：「どのくらい？」

類例 **How much** money do you have in the bank?

《量・金額》銀行に貯金はいくらありますか。

How often do you eat out? 《回数》どのくらい頻繁に外食されますか。

How old are you? 《年齢》あなたは何歳ですか。

How deep is Lake Towada? 《深さ》十和田湖の水深はどれくらいですか。

How many students are there in your school?

《数》あなたの学校の在校生は何人いますか。

How much did your guitar cost? 《価格》あなたのギターはいくらしましたか。

How long will it take to finish your homework?

《時間》宿題を終えるのにどのくらいかかりますか。

How far is the nearest convenient store from your house?

《距離》あなたの家から最寄りのコンビニまでどのくらいの距離ですか。

ここが Point! **how** の後の形容詞は〈尺度〉を表す

How tall ...? という疑問文における tall は「高い」ことを意味するのではなく、〈高さ〉という尺度を意味している。ところが、How short ...? と尋ねると、「低い」ということが前提とされ、「どのくらい低いのか」を聞くことになる。同じように、far — near, heavy — light, large — small, long — short などの対のうち、前者は〈尺度〉として用いられ、後者を用いるのは、それぞれの語の意味を前提とする場合に限られる。

How tall is your younger brother? あなたの弟はどのくらいの身長ですか。

cf. **How short** is your younger brother?

あなたの弟はどのくらい背が低いですか。